

人間関係で悩まない！苦手な人が気にならなくなる技術(第12回)

今の自分とうまく付き合う(下)

2019.05.07

今の「×」は未来の「○」に変えられる

まずは「ママの世界でトップになる」という思いを持って経験を積んだことで、自分の色を確立することができました。自分だけの型を確立できた今なら、相手がママでもビジネスパーソンでも通用します。何よりも1つの世界で実績を挙げたのが、私の最大の強みとなりました。

つまり、夢とは違うなあと思いながら、あの時小さな公民館から始めたママコーチの道が、実は一番の近道だったのではないかと今は思えるのです。逆を言えば、最初からビジネスパーソン向けに講座を始めていたら、これまで(ママ向けの)本を何冊も出版できなかったでしょうし、テレビに出る機会もなかったかもしれません。

人生を振り返ったときに、よかったことが6割、「そんなこともあったね」というくらいのことが3割、人生の暗部にも思えることが1割なのだそうです。

私にとって、ママコーチをスタートした時点では、それは嫌な1割でした。でも、11年たった今ではよいことの6割に入っています。



つまり今、自分にとっての「×」が未来もずっと「×」とは限らない。私のように「○」になることだってあるんです。

私は英会話学校時代、秘書の仕事をしていたこともありましたが、人の中心にいることが好きな私には、たった1人の人物のサポート役に徹することはつらいものでした。

でも、全国展開する英会話スクールで、その創設者である会長の仕事を間近で見られた経験は、私にとっては貴重な財産です。学んだこともたくさんあります。嫌なことの中に、ちょっとだけ「○」の要素も含まれていたのです。

どんなに優れたミシュランの料理人だって、イモの皮むきばかりをして過ごす長い修業時代があったはず。でも、「誰よりも奇麗に皮をむいてやるぞ」とか「誰よりも速く皮をむけるようになるぞ」と自分で課題を見つけ、それをクリアしながら成長していく。

意味がないと思う仕事も、自分なりに課題やテーマを決めて取り組めば、「嫌だなあ」の1割がいつの間にか「よかった！」の6割に変わっていくのが人生なのではないでしょうか。

きっと皆さんの人生の中でも「あの頃はつらかったけれど、あの出来事があるから今がある」と思える経験はあるはずです。いい環境で、自分の好きな人と、やりたい仕事だけをするのは、ほとんどありません。でも見方を変えて取り組めば、それが次の自分の成長や幸せにつながるチャンスなのです。

コントロールできることとできないことを区別して考える

英会話学校では、スクールマネージャーをはじめ、営業担当のスタッフたちが、生徒を増やすための営業目標を掲げて働いていました。

6年間で多くの営業メンバーと会いましたが、営業成績がゲンと伸びている人と話をすると、みんな同じようなマインドを持っていることに気がきました。最後まで諦めないし、人のせいにならない。営業会議でみんなが「今月はまずいよー」と言っている中で、1人だけ「ピンチはチャンス！」と言っていたりします。

仕事ができる人に共通する特徴があります。それは、「環境や人のせいにならない」こと。

一方で、うまくいかない人は、グチグチと人や環境のせいにする。例えば、スクールの立地が悪いから、受講料が高いから、先生の質が悪いから……。でも、条件はみんな一緒なのです。同じ環境の中でも、成績を上げる人と上げられない人がいる。その違いは「マインド」の違い。自分自身と向き合わずに、人や環境の文句を言うほうがラクです。でも、そういう人はなかなか現状を打開できません。

世の中には、自分でコントロールできるものとできないものがあります。置かれた環境など、自分の力ではどうしようもないことをコントロールしようとする、苦しくなる。そんなときこそ、どんなささいな行動でも、自分ができることから始めてみる。変えられるのは、自分と未来だけなのです。

「今できることは何か」を考える… 続きを読む